

日本地理言語学会第五回大会募集要項

期日：2023年6月10日午後・11日終日（発表数に応じて短縮される可能性もあります。）

場所：南山大学（詳しい会場の位置は5月に出るプログラムに記します）

466-8673 名古屋市昭和区山里町18

開催方法：会場での対面型とオンライン型。オンライン型は必ず行いますが、対面型は行わない可能性もあります。

用語：日本語または英語

範囲：世界諸言語の言語地図を使った研究。個別の言語特徴を類別した記号により作図し、その地理分布に即して形成過程を論じた内容を主としてください。記号は色で区別できるのは5色程度なので、それ以上の類別がある場合は形や大きさも変えてください。地名や姓も地図を使った研究は対象となります。また地理軸を含めば **glottogram** や統計的な研究のような図表やグラフによる研究も対象となります。社会言語学的研究も言語地図（既存のものも含む）と比較したものは歓迎します。

対象：どなたでも発表応募でき、聴講することができます。日本の国内学会ではありますが、海外の参加者の発表も歓迎します。大会側はビザの取得や本邦滞在の接待などは扱いませんので、日本にいる個人的な知り合いに依頼できることが必要となります。

応募方法：2023年4月1日から4月10日までの間に、発表時に使用するのと同じ言語で書いたアブストラクトを gsjtaikai2023@ymail.ne.jp に word ファイルと pdf ファイルで提出してください。A4 を縦に使い1ページのみとし、上下左右は30mm ずつあけ、40行とし、11ポアのフォントを使い、最初の一行目に題名を中央揃えで入れます。副題がある場合などは二行目にわたっても構いません。一行空白行を入れ、氏名とカッコ内に所属を中央揃えで入れ、更に一行空けて本文を始めます。一つ以上言語地図ないし地理軸を含む図表のサンプルを入れるのが採択の必要条件となります。地図や図表も含めて1ページを超えたり、レイアウトを変えたりせず、ページ数など上記以外の情報を入れたフッターやヘッダーは入れないようにしてください。Unicode 以外の付加フォントは使用せず、特に IPA は Times New Roman を使って入れ、SIL 系や他の付加フォントを避けてください。pdf ファイルはフォント埋め込みで保存してください。予稿集にそのまま掲載されるので、母語以外で書く場合は必ずネイティブチェックを経る必要があります。

採択者発表：上記のアブストラクトが到着するとその旨の自動返信が即時に行きます。採否は遅くとも2023年4月30日までに学会ホームページにリストが掲載され、個別には通知しません。

要旨集：提出されたアブストラクトを集めた要旨集は pdf 版でクリエイティブ・コモンズ Ver.4 に準拠した **zenodo** にアップされて、DOI が 賦与され、本学会ウェブサイト

そのリンクが公開されます。つまり、提出した時点で公衆送信権の行使を当学会に対して許諾したこととなります。

発表時間：発表 20 分，質疑応答 10 分。共著の場合，第一著者は必ず本人が発表し，第二著者以下は任意とします。発表をキャンセルする場合は理由を申告し（プライバシーに渡る内容には触れないでください），正当なものでないと判断された場合は翌年度応募できなくなる可能性があります。

参加費：会場・オンライン参加とも一律 1000 円とします。学生は無料です。懇親会・茶菓の提供はありません。事前申し込み方法の詳細についてはプログラム公開時に学会ホームページでお知らせします。